

## 日本の実力者たち（6）

これまで『日本の実力者たち』というテーマで「天皇」「藤原氏」「将軍」「老中」など政治に直接関わる実力者・権力者を見てきました。今回からは、2回に分けて日本史に登場してくる僧侶を扱います。題して、「入試に出てくる僧侶51人」です。

### 入試に出てくる僧侶51人（1）

僧侶、と聞いてあなたは誰を思い浮かべますか？ 時代ごとに代表的な坊さんを思い出せますか？ その坊さんが何をしたのか、わかりますか？ 僧侶の名前は難しいものがありますが、ちゃんと漢字で書けるでしょうか？

では、古代の僧侶を見ていきましょう。僧侶の歴史は仏教の歴史の一部と言っても良いでしょう。ですから、簡単に仏教の復習をしましょうか。

日本に仏教が入ってきたのは飛鳥時代のことでしたね。**欽明天皇**の時に、百済の**聖明王**から仏教が伝えられました。

権力を持った**蘇我馬子**が建てた日本初の本格的伽藍を持つ**飛鳥寺（法興寺）**や**厩戸王**が建立した**四天王寺**や**法隆寺**など、「古墳に代わる権威の象徴」として各地に寺院が建立されていきました。

**氏寺**にかわり**国家鎮護**の仏教寺院が藤原京や平城京に建立され、**聖武天皇**や**孝謙天皇**など権力者も仏教に深く帰依するようになり、奈良には**東大寺**や**盧舎那大仏**、そして各地には**国分寺**や**国分尼寺**が造られました。さらに、**鑑真**が中国からわざわざ日本にやってきました。また、この頃には仏教が政治と深く結びついていくようにもなりました。道鏡の存在も忘れられません。仏と神は本来同一であるとする**神仏習合思想**も生まれました。

そして平安時代に入ると、超有名な僧侶が登場しました。平安仏教を創設した「二大巨頭」、**空海**＝**弘法大師**と**最澄**＝**伝教大師**は特筆すべき人物と言っていいでしょう。密教が日本に入ってきて、**加持祈禱**により**現世利益**を得ようとする皇族・貴族に支持されました。

摂関政治が全盛期を迎える頃、国風文化の花が開き、**末法思想**の広がりを背景に、**浄土教**が流行して、**空也**や**源信**が活躍します。また、神仏習合も進み、**本地垂迹説**も生まれました。

このように、古代日本において仏教が受容され、日本古来の神道と融合していき、末法思想などにより浄土教が広がっていく。その流れを大きく理解して下さいね。

その上で、次にまとめた一人ひとりの僧侶＝坊さんの業績を覚えていきましょう。日本だけでなく、中国や朝鮮の僧侶もいますので、注意して下さい。

では、はじめましょう！！

## 次の僧侶は誰？ 古代編15人

- ①602年に来日し、暦本や天文・地理書を伝え、元興寺に住した百済の僧侶。
- ②610年に来日し、絵の具や紙・墨の製法を伝えたとされる高句麗の僧侶。
- ③595年に来日して聖徳太子の師となり、法興寺に住し、帰国後、太子の死を聞いて翌年の同日に没した高句麗の僧侶。
- ④遣隋留学生・学問僧として隋を訪れ、帰国後の大化の改新で国博士となった学問僧。
- ⑤717年に唐に留学し、帰国後、橘諸兄政権に参画し、護国仏教の確立に努めた。藤原仲麻呂の台頭で筑紫観世音寺に左遷された法相宗の僧侶。
- ⑥法相宗を学び、民間布教に従事し政府の弾圧を受けた。諸国を巡遊し社会事業に活躍し、後に東大寺大仏造立事業に参加し大僧正に任じられた僧侶。
- ⑦唐から753年に渡来した日本における律宗の開祖で、東大寺戒壇院を建立し、聖武上皇・孝謙天皇らに受戒を行った。後に、唐招提寺を開いた僧侶。
- ⑧孝謙上皇の病を癒し信任を得て台頭し、765年には太政大臣禅師となったが、宇佐八幡宮神託事件で失脚し、770年に下野薬師寺に追放された法相宗の僧侶。
- ⑨日本最古の説話集である『日本霊異記』を著した薬師寺の僧侶。
- ⑩804年から入唐し密教を学んだ。816年高野山に金剛峯寺を開き、823年京都に教王護国寺を与えられた真言宗の開祖。弘法大師とも言われ、庶民教育のために綜芸種智院を設立。
- ⑪804年に入唐し天台の奥義を学んだ。禅・密教を統合して日本天台宗の開祖となった。伝教大師と呼ばれる。
- ⑫最澄に師事し、入唐して密教を学び、帰国後、天台宗山門派の開祖となった。慈覚大師と呼ばれる。『入唐求法巡礼行記』を著した。
- ⑬入唐して天台・法華・華嚴を伝承して帰国し、天台宗寺門派の開祖となった。智証大師と呼ばれる。
- ⑭阿弥陀仏を唱えながら、諸国を巡り、橋の架設や井戸掘りなどの事業を行い、市聖・阿弥陀聖などと呼ばれた。
- ⑮天台宗の僧侶で、恵心僧都とも呼ばれ、985年に『往生要集』を著して浄土教を広めた。

- |            |     |     |     |
|------------|-----|-----|-----|
| ①観勒        | ②曇徴 | ③恵慈 | ④旻  |
| ⑤玄昉        | ⑥行基 | ⑦鑑真 | ⑧道鏡 |
| ⑨景戒（きょうかい） | ⑩空海 | ⑪最澄 | ⑫円仁 |
| ⑬円珍        | ⑭空也 | ⑮源信 |     |